



# 学校だより

令和元年 9月27日  
第17号  
四日市市立小山田小学校

## 「心を一つに最後まで！」みんなが輝いた運動会 <表現>



### 1・2年生【いっしょにぼうけんしよう！】

それぞれ青・赤・金・ピンクのバトンを手に、腰に三角スカーフを挟んで「ドラえもん」元気いっぱいに踊りました。ダンスとバトンがよく揃っていてとてもかわいかったです。どんな冒険もみんなと一緒になら勇気百倍です。



### 3・4年生【Big Smile!】

全員が赤・青・緑・ピンクのバトンとおそろいのバンダナを身につけ、はじける笑顔で、元気いっぱいに踊りました。曲に合わせて次々とダンスと隊形を変えながら、最後には、全員で大きな笑顔の花を咲かせました。



### 5・6年生【鼓動】

プログラムの最後を飾ったのは、5・6年生の組体操でした。全員の指先までそろった息の合った演技と笛をほとんど使わず、曲のリズムに合わせたポーズの展開は、見事でした。全員咲かせた大輪のフラワーや最後のピラミッドウォールに、会場から大きな拍手を受けました。エンディングでは各グループで考えたポーズを披露し、全員の笑顔がはじけていました。まさに一人ひとりの鼓動が大地の鼓動と一つになったように感じた素晴らしい演技でした。

## 保護者・地域の方々に支えられた運動会！

足元の悪い中、朝早くからご来校いただき、温かい声援を送っていただいたご来賓・保護者・地域の皆さま、ありがとうございました。天候が心配されたため、競技の進行を早めたり、午前中で終了したりするなど、急な変更があり、ご心配をおかけしたことをお詫びします。また、前日と当日の早朝からのテントやロープ張りなどの会場設営、終了後の撤去のお手伝いをいただいたPTA本部役員、体育厚生部の皆さま、駐車場の整備や車の誘導をいただいた交通安全協会の皆さま、ご協力いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。これからも本校への温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 全国学力・学習状況調査の結果から ②

「学習状況調査」について、「児童質問紙」と「学校質問紙」の結果から、本校児童の学習面や生活面の特徴と本校の学習指導の取組についてまとめました。

### 【児童の学習や生活について～「児童質問紙の結果より」～】

#### ① 学習面

「家で計画を立てて勉強しているか」については、「している」と回答した児童の割合が全国平均を上回っており、家庭での自主学習の習慣が定着してきていることがわかります。「普段、1日にどれくらい勉強しているか」については、「1時間以上」の割合は全国を上回っていますが「2時間以上」の割合が全国平均を下回っており、平日の家庭学習の時間を増やすことが望まれます。「国語で学習したことは将来役立つと思うか」及び「国語で学習したことを普段の生活で活用しているか」について全国平均を上回っており、国語の学習に対して学ぶ意義を感じ、実生活に活かそうとしている児童が多いことがわかります。「算数の勉強は好きか」については、全国平均を大きく下回り約2人に1人が否定的な回答をしていますが、「算数で学習したことは将来役立つと思うか」は、肯定的な回答が全国平均を上回り、「算数で学習したことを普段の生活で活用しているか」及び「算数の授業で新しい問題に出会ったとき、解いてみたいと思うか」はいずれも全国平均を上回っており、算数は好きではないが、学ぶ意義を感じ、多くの児童が実生活に活かそうとしています。新しい問題・分からない問題にも諦めずに、挑もうとする児童が多いものの、解答に時間がかかる児童も多いことから、今後、じっくり課題に取り組むとともに、素早く問題を解く練習にも取り組む必要を感じます。また、「算数が好き」という児童を増やすために、今まで以上に授業改善や教材の工夫に取り組みます。

#### ② 生活面

「毎日、同じ時刻に寝ているか、起きているか」について、「している」と回答した児童の割合が全国より低く、家庭における基本的な生活習慣に課題が見られます。「自分によいところがあると思うか」について、肯定的な回答が全国を大きく上回（全員が肯定的な回答）っており、児童の自己肯定感が非常に高いことがわかります。また「学校の決まりを守っているか」及び「いじめはどんな理由があってもいけない」についても、肯定的な回答が100%と、全員が高い規範意識といじめに対する正しい認識を持ち、人権を大切に考えていることがわかります。「地域の行事に参加しているか」及び「地域社会をよくする方法を考えるか」について、どちらも肯定的な回答が全国を大きく上回っており、地域と深くかかわりながら生活していることがわかります。しかし「家の人と学校での出来事を話すか」について、肯定的な回答の割合が全国より低く、学校のことを話題とした保護者との対話が比較的少ないようです。「普段1日当たりどれくらい読書をしているか」については「30分以上」と答えた児童が全国を大きく下回り、「新聞を読んでいるか」については、「毎日・週に1～3回」と答えた児童の割合が全国より低く、豊かな感性や言語能力と幅広い知識を身につけるためにも、家庭での読書習慣と、新聞を読む習慣をつけてほしいと思います。

### 【学校教育の取組について～「学校質問紙」の結果より～】

#### ① 令和元年度学力・学習状況調査について、全教員で自校採点を行いました

全教員が問題の傾向を把握し、児童の強みや課題について分析を行い、各学年での指導の重点や手立てについて考える機会を持ちました。夏季休業中に西陵中学校や水沢小学校と合同研修会を行い、調査の結果から見えてきた各校の成果と課題、子どもの実態や教育活動などについて情報交換を行いました。

#### ② 調査の結果を踏まえた授業改善を実践しています

自分の考えを持って表現する活動につなぐために、全学年で書く活動に取り組んでいます。特に高学年においては、「主語述語の関係」、「結論と根拠を示す」などを意識させた言語活動に取り組んでいます。学び合いの授業づくりに重点を置き、ペアや少人数で話し合い、自分の意見を分かりやすく相手に伝えるためのコミュニケーション力を育てるよう取り組んでいます。学習に対する意欲・関心を高め、達成感を味わわせるために、発問や課題を工夫して、授業の始めに「めあて」を提示し、終わりには「振り返り」活動を行い、次時につなぐように指導しています。電子黒板などの機器や具体物を活用するなど指導の工夫をしています。主に算数科で複数名の教師による少人数教育（ティームティーチング・習熟度別学習）の研究を進めています。児童個々の課題に応じたよりきめ細かな指導ができるよう取り組んでいます。

#### ③ 家庭と連携して、学習習慣の確立をめざします

『家庭学習の手引』を配付し、家庭学習の進め方について、学校と家庭との連携を図っています。また、本年度から、学年部に応じた自主学習を例示した「家庭学習（宿題プラスワン）の手引き」を配付し、発達段階に応じた自主学習に取り組む指導を行っています。

#### ④ 小中学校の連携を図り、継続的な学びを進めています（中学校区「学びの一体化」）

中学校の先生による乗り入れ授業によって、子どもたちが中学校を身近に感じ、学習意欲が向上するよう取り組みました。小学校からは、夏季休業中に中学生の部活や補充学習の支援に参加しました。